1. 宇治市上下水道耐震化計画の概要

(1) 事業計画期間

令和7年4月～令和12年3月までの5年間（5年毎に計画見直し）

(2) <急所施設>の設定

- 本施設の機能が停止すれば、システム全体の機能が停止する最重要施設
 - 上水道：取水施設・導水管・浄水施設・送水管・配水池・ポンプ所
 - 下水道：下水処理場・処理場に直結する管路

(3) <重要施設>の設定

下水道処理区域内 4 1 施設 / 下水道処理区域外 2 施設

- 宇治市地域防災計画で定められている避難所等の施設のうち、国が示す3項目「避難対策・災害医療・災害対応」に該当する、重要な拠点・機関を設定
 - 「避難対策」開設順位1の避難所29施設・広域避難場所3施設
 - 「災害医療」災害拠点病院1施設
救急告示病院2施設（川東地区と川西地区に各1施設）
 - 「災害対応」災害対策本部や京都府施設など8施設

2. 事業計画期間（5年間）における整備箇所

(1) <急所施設>

上水道：五ヶ庄配水池

下水道：東宇治浄化センターに直結する管路

- 災害時の応急給水では、水の確保が重要となるため、「配水池」の耐震化を優先する
- 五ヶ庄配水池は、川東地区において最大の給水人口を受け持っており、令和4年度より耐震化工事を進めている

(2) <重要施設> 重要施設5箇所に接続する管路の耐震化

宇治市役所、うじ安心館、水道庁舎、大久保小学校、菟道小学校

- 事業実施については、下記の要件を満たす施設を選定することで、上下水一体での耐震化効果の早期発揮が期待できる
 - ・耐震化済みの配水池から水の供給を受けている
 - ・宇治市水道事業ビジョンの取組において整備した施設や管路に近接
 - ・整備延長が短く、早期に耐震化の効果が期待できる
- ※下水道については、管路の耐震性能の確認として「耐震診断」を実施

(3) 事業計画期間（令和11年度末）での耐震化率（目標値）

区分	項目	現状 R5 年度末	目標値 R11 年度末
上水道	配水池の耐震化率	42%	64%
	配水池～重要施設までの 管路の耐震適合率	32%	41%
下水道	東宇治浄化センターに直結する 管路の耐震化率	0%	100%
	重要施設～下水道処理場直前の 合流地点までの管路の耐震化率	49%	63%
上下水道	重要施設に接続する管路の 耐震性能確保の施設数	0施設	5施設

※管路の耐震適合率とは、「耐震管」と「耐震管以外の管路でも布設された地盤の状況を勘案すれば、耐震性があると評価できる管」の占める割合。